

指笛楽友会通信（第52号）

平成25年2月18日

新しい年、2013年を迎えましたが、皆様お変わりございませんか。去る1月14日（月）の楽友会総会は思いがけず大雪に見舞われました。近隣遠方にかかわらず、交通手段の混乱で大きな影響を受けた方も多と思います。参加された方々は本当にお疲れ様でした。当日駅では新成人の着物姿が多く見られました。新しい門出に手荒い歓迎で気の毒な気がしましたが、一方で記憶に残る日となったことでしょう。

先日所用で郷里の高知県に行ってきました。ところが雪がちらほら舞うような天候で気温は低く、南国にもかかわらず関東をしのぐ寒さに驚きました。しかし、国道を走り始めると家々に植えられた白や赤の梅の花は満開で、ほのかな香りが漂っていました。そして数日後には雨。そういえば、「立春」の次は「雨水」ですね。そして啓蟄、春分。春の足音が確実に近づいているこの頃です。

指笛楽友会通信をお届けします。

今回は、1月14日（月）に開催された「2013年度楽友会総会」により決定された事柄や片山俊一さん執筆の「私と指笛」をお届けします。片山さんが公園で指笛の練習をしているときに犬に吠えられたことなどの苦労話や、福岡に戻られて支部を立ち上げたことなどが紹介されています。今後のご活躍を期待したいですね。

1. 2013年度楽友会総会

去る1月14日（月）に開催された総会において2012年度の事業報告が行われ、指笛音楽78周年記念研究発表会が開催されたことや、第38回善意の輪を広げようチャリティーショーへの参加、第35回練馬まつりへの参加などが報告されました。

併せて2013年度の事業として次のようなことが計画されました。（いずれも詳細は追ってお知らせすることになります。）

①指笛音楽79周年記念コンサート

9月21日（土）、練馬区立文化センターホール

②楽友会通信発行：年4回

2月、5月、8月、12月

③各地演奏会及びボランティア活動に出演

・第39回善意の輪を広げようチャリティーショー（東京善意銀行友の会）：
7月7日（日）

- ・みんなのおんがくかい（練馬区内7団体、練馬公民館）
- ・練馬まつり（練馬総合運動場他）

④役員会

25の会と併せて2月から11月まで毎月開催していくこととなります。
後述した事務局だよりをご参照ください。

2. 指笛と私：片山俊一

私は平成18年から平成24年までの6年間、東京で勤務することになりました。最初はやはり環境や仕事に慣れるのが大変でした。

そんなある日、新聞に指笛の記事が載っていました。私は趣味といっても、たまに誘いが来るソフトボールの試合に参加するくらいでした。その頃はハーモニカでも吹けたらなんとなく楽しそうだと思っていたので、その記事を取っておくことにしました。半年位たった頃でしょうか、たまたま、近くの図書館に入って「あっ、そう言えば指笛の事が」と思い、本を調べてみると田村大三先生の本があり、早速家に帰りその本を見て、新聞記事を探しました。電話番号が載っていたので、すぐに電話しました。電話口には現会長斎藤さんが出られ、「指笛やるんだったら、練馬で月に1回やっているのだからいい」との事でした。後日練馬まで行き、マウスミュージッククラブ（MMC）に参加しました。

そこでは、皆が楽しそうに指笛を吹き、草笛や口笛を吹きながら、又曲も覚えられると言った感じで、初心者の私にも分かるように懇切丁寧に教えてくださいました。このとき思ったのは、いい趣味をお持ちの方、楽しんでおられる方は人間性も素晴らしいと思いました。とは言うものの、肝心な音がなかなか出ません。又練習場所が無かったので、いろんなところで練習しました。最初は近くの公園でしたが、犬に吠えられたり（飼い主がいるにもかかわらず）、酔っ払いが寄って来たり、夜になると警備の人に音量を下げるように言われたりしましたが、最終的には職場に防音の部屋を見つけましたので、だいぶ音が出せるようになりました。

田村先生がよく「人前で演奏しないと上手くならない」と言われたとお聞きしておりますので、翌々年には、まだ力不足とは思いましたが、練馬文化センターでの第77周年記念の指笛音楽研究発表会に出ることにしました。又、その年の10月にも、練馬祭りで皆さんと一緒に指笛を、たくさんの人の前で披露することができました。他にも職場の定年パーティや、送別会等でも指笛を披露させていただきました。

お陰様で、東京の勤務が非常に楽しい、そして思いで深いものとなりました。

昨年は福岡に帰り、同じ楽友会の笹原さんと連絡を取り合い支部を立ち上げる事にしました。3人からのスタートです。月に1回の練習日を決めて頑張っております。

新しい年を迎え、抱負としては、じゃ(蛇)ん、じゃ(蛇)ん 練習をして、AKB48のヒット曲、ヘビー(蛇)ローテーションのようにみんなに愛される指笛になるよう、身(巳)を粉にして、頑張りますので、どうぞ今年もよろしく願いいたします。

3. 事務局だより

(1) 会員等のご不幸に対する弔電について

1月14日の役員会で、次の取り扱いとすることが決まりました。

会員ご本人、会員の配偶者、実父母、子供、が死去された場合に、指笛楽友会名で弔電を打つことになりました。

上記に該当するような場合は、役員(又は会長)までご連絡をお願いします。

(2) 平成25年度(2013年度)の25の会、練習予定及び役員会開催予定(平成25年1月30日現在)は次のとおりです。

①会場はいずれも、U(ユウ)スタジオ。

住所：練馬区東大泉6-34-28、B-107

電話：03-3924-6455

携帯：090-2545-2990

時間：いずれも13時から17時

②日程は次のとおりです。

2月24日(日)	25の会、練習、役員会
3月24日(日)	同上
4月28日(日)	同上
5月26日(日)	25の会、発表会練習①、役員会
6月22日(土)	25の会、発表会練習②、役員会
7月28日(日)	25の会、発表会練習③、役員会
8月24日(土)	25の会、発表会練習④、役員会
9月21日(土)	発表会
10月26日(土)	25の会、練習、役員会
11月24日(日)	25の会、練習、役員会(総会準備)

最後に編集者より

齋藤会長をはじめ役員・会員関係者の方々のお蔭で2012年度の事業も無事に終えることができ、また新しい気持ちで2013年度の事業に取り組むことになりました。会員の皆様もそれぞれの思いで新しい年の活動を始められたことと思います。

日々がいたずらに思いがけない速さで過ぎていきます。我が身を振り返ると、指笛普及のために何ができたのか、何をやっているのか、自身の精進は田村先生に恥じないくらいしてきたのだろうか、という疑問がいつもつきまといま

す。そういうことを考えますと、まさに汗顔の極みではないかと反省しています。

そんな折、総会後の懇親会で静海先生がいみじくも指摘されたように、死に物狂いで取り組むという性根のあり方を、のど元に刃を突き付けられた思いでお聞きしたしだいです。

これを我が身への叱責と受け取り、また原点に立ち戻った気持ちで自身の活動をさらにひたむきに、より充実したものへとしていきたいと考えております。

会員の皆様のますますのご活躍を祈念して指笛楽友会通信をお届けします。

次回の配信は5月号となります。

(編集責任 竹中速雄)